





備中安養寺裏山経塚出土品



| | |
|--------|---|
| 指定区分 | 国指定重要文化財(考古資料) |
| 読みかた | びっちゅうあんようじうらやまきょうづかしゆつどひん |
| 所在地 | 倉敷市浅原 安養寺 |
| 指定年月日 | 昭和31年6月28日 |
| 解説 | 安養寺裏山の経塚から出土した遺物。法華経などを刻んだ瓦経(がきょう)(素焼)、土製塔婆型題箋(どせいとうばがただいせん)8本、土製宝塔1基からなり、平安時代後期の優れた絵画・工芸資料として貴重。安養寺は、倉敷市北郊の福山山麓にある真言宗の寺院。 |
| アクセス方法 | JR倉敷駅より車で15分／山陽自動車道倉敷ICから車で5分 |
| 公開状況 | 見学には事前連絡が必要〔陳列6～17時／参拝料必要／撮影禁止／問い合わせ先:安養寺 086-422-1110〕 |
| 設備 | <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  駐車場 </div> <div style="text-align: center;">  トイレ </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  障害者用駐車場 </div> <div style="text-align: center;">  障害者用トイレ </div> </div> |
| 備考 | 出土品の大半は東京都国立博物館に展示されています。 |